

こんにちは



第80号
9月定例会
平成29年10月20日

豊丘村議会 です

よーいドン!!

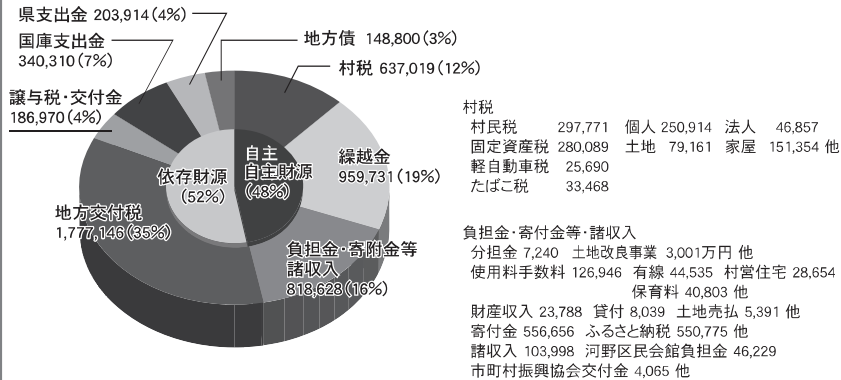
説明はP.9

28年度決算認定の質疑から	4～5ページ
監査委員の鋭い視線	6ページ
補正で「豊かな丘」に出資	8ページ
8人が一般質問	10～18ページ
県に陳情活動	19ページ
(特別) 委員会報告	20～23ページ
みんなのページ	24ページ

平成28年度一般会計決算 歳入歳出状況

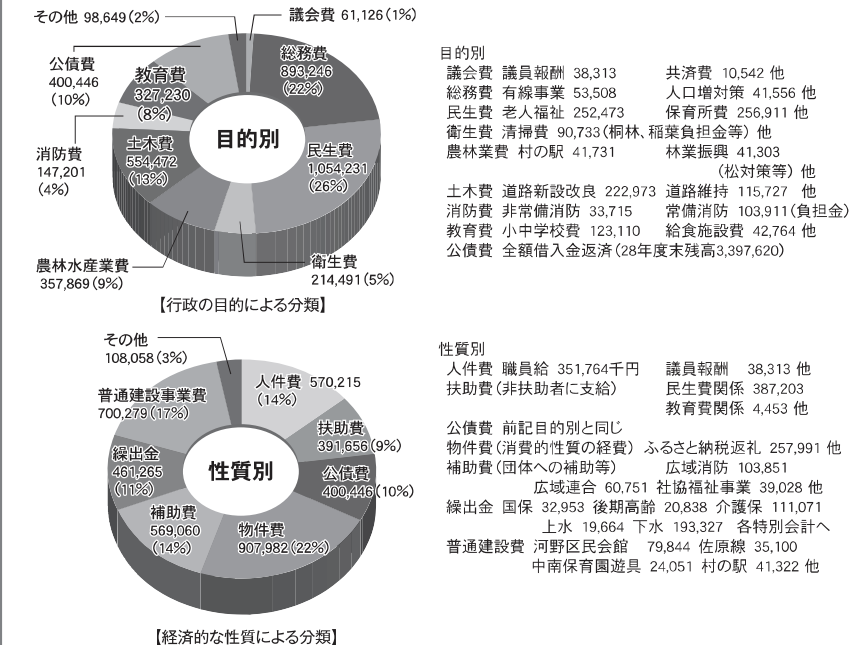
一般会計歳入内訳 50億7252万円

(単位:千円)



一般会計歳出内訳 41億896万円

(単位:千円)



平成29年 第3回定例会 ふるさと納税大幅減

財政状況は引き続き健全

第3回定例会

平成29年第3回定例会が、9月1日から9月19日までの、19日間の会期で開かれた。開会日には、条例案1件、補正予算案4件、平成28年度決算認定6件、一般案件1件、報告1件、陳情2件、請願1件が上程された。一般案件の負担付寄付の受納については即決で承認された。その他の案件については委員会に付託された。また、閉会日には、財産の取得(消防小型ポンプ付軽四輪2台)及び教育委員会委員に木下志保里氏(山田)の同意が追加上程され即決で承認された。今定例会では、総務産建委員会及び社会文教委員会が9月5日の午前午後それぞれ開催され、予算決算委員会は、9月7日、11、12日の3日間の日程で開催し、付託された議案の審議がされた。再開日の19日の本会議に、各委員会の審査結果の報告があり、条例、補正予算、決算認定はそれぞれ承認され、陳情請願はすべて採択された。また、一般質問は、8名の議員が行った。

平成28年度決算の概要

28年度の一般会計及び各特別会計の決算数値は、下記の表のとおり。一般会計歳出では、対前年比6億3千万円の減となった。これは学校給食調理場、地蔵道閉地造成、てっぺん公園整備等大型事

各会計の決算は

会計種別	歳入(千円)	歳出(千円)
一般会計	5,072,518	4,108,961
国民健康保険特別会計	671,901	615,628
後期高齢者医療特別会計	68,637	68,637
介護保険特別会計	812,319	755,101
簡易水道特別会計	300,785	193,051
下水道特別会計	381,689	342,120
合計	7,307,849	6,083,498

業が終了したため。なお村の駅は次年度に繰り越された。決算には出てこない。また、歳入では、大型事業減分の補助金の減、ふるさと納税の減等により、6億3千万円の減となった。財政指標について、経常収支比率は74.1%と対前年1.1%増加、実質公債費比率は4.9%で対前年1.1%の増、将来負担比率は減少し財政状況は健全を保っている。一般会計では、歳入歳出差し引き額が9億6355万円となり、翌年度への明許繰越額2億2410万円を差し引いた実質収支額は7億3946万円となり、次年度へ繰越される。

決算

どう活かされた —住民福祉は、行政サービスは、

予算効果 =平成28年度 決算質疑から=

3日間にわたる決算審査では、理事者として村長他、係長以上の出席により、説明を受け質疑を行った。
一般会計質疑応答の中から、一部を記載する。

ふるさと納税のクレーム率は

井原議員 桃など村民がどのくらい関連しているか。
総務課 全てJAに依頼している。
唐澤（啓）議員 クレームはあるか。
総務課 0.5%程度で年々少なくなっている。

参議院選挙で初めての選挙権

吉川議員 投票率が18歳の投票率が高いが、選挙管理委員会での分析はしたのか。
議会事務局 18歳、19歳にダイレクトメールを送った。その効果があつた。
竹村議員 高校生に手伝いをしてもらうよう対応して。

集会施設は自治会で持てるのか

唐澤（健）議員 中三会所、東会所は認可地縁団体になつてないのか。そうしないと、自治会では財産はもてないが、総務課 認可地縁団体にはなつてない。建物は登記されてない。税金もかからない。財産を持ちたければ認可地縁団体にすればよい。

保育園の正規と嘱託職員の差の解消を

川野議員 給料の年収が、正規の平均は544万円、嘱託は246万円と同じ仕事をしている。総務省では、自治体の嘱託職員も2020年までにポーンスを支給すべきの方針だが、政府が同一賃金同一労働の方針もあり、そういう方向になれば考えていく。
川野議員 正規職員の率が喬木に比べれば低い。
村長 豊丘は障がい児の受け入れを希望されれば全て受け入れているので、嘱託は、やむを得ない。
井原議員 障がい児は正規職員が必要だ。同じ仕事をしているのだから300万円の差はおかしい。改善すべきだ。

予防接種の受診が低いのでは

川野議員 肺炎球菌ワクチンの摂取率が低いのはどうしてか。
健康福祉課 5年間の有効なので低く出ている。
滝川議員 努力義務で100%でないのは、健康福祉課 対象年齢の幅があるとか、親の考えもある。

NPOだいちの運営は

滝川議員 桃狩り観光事業と桃の出荷で、当初観光すれば出荷できないとされたが、JAと掛け合ったが部会はだめと言われた。しか

通所介護食費補助金は、全て支払われたか

唐澤（啓）議員 介護食費利用者負担助成で、村外は申請主義だ。捕捉は。
健康福祉課 村外施設からの請求時に利用者への案内をお願いした。村からの補助は、74万円から133万円に増え、100%とは行かないが、申請は増えている。
健康福祉課 22947日の利用のうち負担助成は20285日。村外の個人負担は71%の利用申請となる。

生産森林組合育成補助金はなぜ

唐澤（健）議員 育成補助金はどういうことで出されているのか。
産業建設課 昭和47年の法改正から村は係わってきた。森林組合に指導料として昭和52年以降支払っている。

青年就農給付金のその後は

片桐（忠）議員 受けられた方の状況は。
産業建設課 過去には途中で辞退された方が1名いた。



県外のお客さんにぎわう「だいち」の直売所

土地改良区に届け出不要にできないか

平澤議員 相続の場合農地の委譲が村で判っているのに、土地改良区への届け出の手間を省けないか。
産業建設課 改良区は自分で届け出をしなければならぬ。届け出制になっている。村では出来ない。



開かれた議会をめざして 広報広聴委員会発足す

広報広聴特別委員長 吉 川 明 博

これまでの経過
議会活動を村民にしっかりと伝え理解してもらうにはどうしたらいいのか議員ひとりひとりが取り組みをする中で、5年ほど前から議会改革を審議する議会改革検討委員会を設置し、議会をどのように改革するか検討してきた。議会基本条例を制定し、その中から「議会と村づくりを語る会」を3年前から9会場で開催してきた。この会の実施については議会改革検討委員会の第一小委員会が計画・準備し全議員で実施してきた。

これと平行して議会改革検討委員会、積極的に村民に議会の活動とを考えを伝える広報機能と、議会に関する意見を聞く方法を検討する広聴機能を持つべきだとの意見があった。この完成形として広

9月議会請願・陳情について

●陳 情 (22P参照)

- 道路財特法に係る補助率等の嵩上げ措置継続の取組について

< 採 択 >

陳情者 長野県道路整備期成同盟会

会長 垣内 基良

●陳 情 (22P参照)

- 全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情

< 採 択 >

陳情者 全国森林環境税創設推進議員連盟

会長 板垣 一徳

●請 願 (23P参照)

- 廃棄物の最終処分場建設について住民に寄り添った指導・判断をするよう求める意見書の採択を求める請願

< 採 択 >

請願者 宮田の環境を守る会

会長 田中 一男

県・国会・政府に「意見書」を送付した。

設置の目的
議会の活動状況に関する情報を広く村民に知らせると共に、村民の多様な意見を聴き、もって議会に対する関心を高め、村民の議会

構 成

広報部会7名、広聴部会9名に分け、議長と副議長は両方に所属する。

広報部会

年4回の定例会ごと議会だよりの記事づくりから割付け、校正、写真撮影等を行う。

写真は部員が手分けして沢山撮った中から選び、記事はインタビュウして書くこともあり、手に取って読んでもらえるよう努力している。

広聴部会

議会報告会の企画及び運営に関する事項、議会ホームページに関する事項、議会モニター対応等を行う。



村財政への鋭い視線 監査委員の重要な立場

代表監査委員 久保田 勝

監査委員の任務
村の財政に関する事務の執行及び村政運営に係わる事業の管理について、行政の適法性、効率性、有効性など住民のための行政事業、事務が行われているかについて検証監査する。必要に応じ現地調査も行う。

議会、委員会への参加
村議会議長からの要請により、代表監査委員として本会議、予算決算委員会に出席する。委員会では議論される内容について知ることは、定期監査、決算審査、例月監査など実施する上で大変参考になる。

議会と監査委員との関係を職務権限の面から見ると、議会は条例制定権、予算審議権、監視の権限、言うならば検査権、調査権、監査請求権がある。

議会議員に関して
議会では、経験豊富な下平議長を中心に14名の議員が、それぞれが得意とする分野を持つていて、全体としてバランスのとれた真剣な議論がされている。もう一歩議論を深めた方がよいのではと感じる事案については、必ず誰かが発言し、審議するなど、大変結構なことだと思う。

9月定例議会への報告
地方自治法233条2項の規定により関係諸帳簿及び証拠書類について審査を実施した。一般会計特別会計の歳入歳出決算書、同付属書いずれも係数が正確であると認めた。また、予算執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行についても、適正に処理されているものと認めた。



28年度監査現地調査を実施した中部三集会所

独自の立場から議会に報告してきた主な項目

平成24年度・財政健全化について・村債基金について・委託料について
平成25年度・大型事業と財政条項について・予防介護における地域支援事業について・新地方会計について
平成26年度・介護保険料の引き下げ改訂について
平成27年度・簡易水道事業について
平成28年度・子育て事業について・会議等に費やす職員の稼働時間について

■用語説明

◎経常収支比率

地方税、普通交付税のように毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）が占める割合。財政構造の弾力性を表す指標。

◎実質公債費比率

一般会計と特別会計を加えた公債費（利子も含めた借金の返済金）の標準財政規模（標準的な行政を行う予算規模・豊丘村はおよそ26億円）に対する比率。過去3年間の平均値、資金繰りの程度を示す指標。

◎将来負担比率

一般会計と特別会計の将来負担すべき公債費から基金（貯金）を差し引いた額の標準財政規模に対する割合。

◎繰越明許費

支出が次年度になる費用。

◎その他解説

◎負担付寄付
当該寄付を受けるとき、村の負



財政の早期健全化・再生に関する指標（単位：％）

項目	比率	早期健全化基準	裁政要望基準
実質赤字比率	－ (△28.9)	15.00	20.00
連結実質赤字比率	－ (△39.2)	20.00	30.00
実質交際費比率	4.9	25.0	35.0
将来負担比率	－ (△21.4)	350.0	

表紙の写真

「南保育園秋の大運動会が、9月21日に盛大に行われた。両親や祖父母の見守るなか、日頃の練習成果を発揮し、子供達の懸命に走る姿に大きな声援が送られた、天候にも恵まれて大変良かった。

※写真は
年長さんのリレー

裏表紙の写真
見事なグラフィックを誇る片桐秀幸さん所有の田村原のタリャ園。

議員の意志表示一覧表（全員賛成除く）

<平成29年9月 第3回 定例会>

○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	竹村	滝川	平澤	片桐	唐澤	酒井	吉田	松下	井原	片桐	松村	唐澤	川野
		直子	利秋	恒雄	忠彦	健	浩文	明博	亨	康明	義憲	正三	啓六	孝子
予 算	平成29年度 豊丘村一般会計補正予算第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳 情	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採	択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

29年度一般会計補正予算 道の駅運営法人(豊かな丘)への 出資金に500万円

平成29年度一般会計補正予算は、定例会開会日の9月1日に上程され、他に、介護保険特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算の計4件の補正予算案が、出席者全員の賛成で可決された。

繰越金は、7億3945万7000円

一般会計補正予算で歳入補正の主なものは、地方交付税確定により2593万7000円、平成28年度決算確定により前年度繰越金3億8482万7000円を繰越金として補正し、これにより繰越金の総額は補正前と合わせて7億3945万7000円となった。

歳出では

◎自治振興費に4210万円、北垣外に建設予定の（仮称）河野北集会所センターの工事費で工事費及び設計管理等の委託料や備品補助となつてゐる。この件については、市の沢地区や筏地区の方が話が

営化に向けた計画などについて地域や地元のために必要な会社にする必要があるとのことと可決した。

◎つべん公園駐車場整備費で、設計込みの業者提案型で実施するため、400万円



北垣外自治会会所建設予定地

◎社会教育費の公民館費では館報縮刷版300冊の発行に198万円

◎耕地災害復旧費に166万5000円
村単土木災害復旧6か所に790万円を8月の大雨による災害への対応に当てて。

主な歳入

◎地方交付税の額の確定により2593万7000円の増額

◎寄付金（負担付寄付金）で2500万円の増額

◎減債基金の繰入金財源の組み替へで2億円の減額

◎繰越金は決算確定で3億8482万7000円の増額。臨時財政対策債20万円の減額（可能額の確定による）

◎介護保険特別会計補正予算では地域支援事業交付金の追加交付に141万3000円・

前年度繰越金確定で5721万6000円歳出では予備費として4581万4000円の増額

◎下水道事業特別会計補正予算では公共下水新規加入負担金、一般会計繰入金、前年度繰越金含め2221万6000円

歳出では維持管理費に300万円、予備費に1921万6000円の増額とした。

◎水道事業会計補正予算では平成29年度の水道事業の貸借対照表の確定による長期前受金224万2000円と減価償却費を287万7000円を減額するもの。また資本的収入及び支出の建設改良費の637万8000円は伴野第二水源の水質改善に向け、小園水源の水で希釈するための増額とした。



道の駅南信州とよおかマルシェ(仮称)の進捗状況は

答 法人発起人設立に向け出資金の募集方法等協議中

吉川 明博 議員

質問 とよおかマルシェは建物が立ち上がりその姿を現してきているが進み具合は、産業建設課長 基礎工事が終了し8月末から建物本体の建て方、鉄骨の組み立てが始まって9月中には組み立て、屋根工事が概ね完了する。順調に推移している。来年2月下旬に建物本体が完成し4月下旬のオープンを目指しており、従業員の募集を始める。運営する新法人豊かな丘法人設立の発起設立を10月中にし、その後出資に関わる説明会を開催し村民の皆様から出資を募る。

質問 村が第3セクター方式による株式会社豊かな丘を立ち上げるについて、その株を51%以上保有するということを表明した。将来は、完全民営化をすることが、この発足当初に村が出資し、安定経営を目指すことの本

旨、完全民営化するということを今この時点で宣言して出資を募るべきだ。考えを問う。村長 道の駅とよおかマルシェを成功させるというのが一番の目標だ。流れの中で民営化に持つていくことだろうと思う。民と公の仕分けの必要も出てくる。要請 村は先々出資率を下げる方向を示すべきだ。

リニア中央新幹線の近況は

答 林道大島虹川線で改良工事をする。

7月20日第9回豊丘村リニア対策委員会中部電力から佐原地区に建設する変電所の工事用車両の通行ルートの説明があった。JR東海から発生土置き場(本山)における環境調査、及び検討の結果について詳しく説明を受けた。又、発生土置き場予定地での希少植物の移植し時期について意見がありJR東海から説明があった。又、吉川議員から議

会リニア特別委員会での意見(候補から外す)をいただいた本山発生土置き場候補地に対する豊丘村の見解(候補地から外さない)を7月20日の村の対策委員会の際に村長より見解を述べ理解を求めている。

質問 本山生産森林組合が発生土置き場について申し出を取り下げた。村長は候補地の取り下げをしないと表明をした。村として無効であると認めるべきか。

村長 多くの発生土を運搬する大型車の通行による住民生活にかかる大きな負荷を軽減す

落石対策・道路改良工事を林道大島虹川線で実施

一般質問

8人の議員が村政を問う

【1日目】 9月13日

発言は通告順

- 吉川 明博 (11ページ) ・豊丘村6次産業化プロジェクトについて
・リニア中央新幹線について
・公共施設の入札について
- 川野 孝子 (12ページ) ・豊丘村の飲料水の現状と取り組みについて
・新万年橋(仮称)の事業は具体的にどこまで進んでいるか
- 滝川 利秋 (13ページ) ・道の駅直売所のめざすもの
・農業振興と後継者対策について
・米の販路拡大と加工品開発について
- 唐澤 健 (14ページ) ・豊丘みらい塾について
・ICT(情報通信技術)の活用について
・本山残土置き場について
- 井原 康明 (15ページ) ・豊丘村消防団の団編成見直しについて
・豊丘村赤十字奉仕団の活動とあり方について
・ロシア視察「ダーチャ」について

【2日目】 9月14日

- 酒井 浩文 (16ページ) ・観光産業の展望について
・ゲストハウス・お試し住宅について
- 平澤 恒雄 (17ページ) ・結婚希望が叶う支援について
・祖父母の孫育て支援について
・延ばす健康寿命について
・避難所となる小中学校の対応について
- 唐澤 啓六 (18ページ) ・就学援助の更なる改善を
・養蜂対策について
・防災対策の見直しを

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・1議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。



直売所きっかけに循環型地域社会を

答 重要事項と認識する

滝川 利秋 議員



村加工所の製麹装置 3 台

質問 道の駅直売所建設の背景を目的は、又どんな直売所を目指すのか。

産業建設課長 農業の抱える課題解消に向け対策の一助が、真の狙い。以前、中芝にあった選果場が統合によりおいしい農産物を購入できなくなった事から切実な願いが多く寄せられた事が最初のきっかけ。直売所では安心安全はもちろん、面白い、楽しいと評価される運営を目指す。

まず産業課の机にスローガンを
答 農業を中心とした村づくり

提案 自分の体験を通じて、ちよっと手助けすれば、農業をやりたい

人はいらるんだ、と感じた。まず産業課の机の上に『農業振興で、豊かな村づくり』等のスローガンを表示して、心意気を伝えてほしい。産業建設課長 農業がなくなったら魅力のない村になってしまう。農業を中心として取り組んでいく必要がある事を決意表明とした。

米の消費拡大に甘酒加工を

答 すでに加工組合で製造

提案 米の販路拡大と加工品開発について、①関東豊丘会で、米の販売PRの実施を、②米粉パンの製造と、甘酒の商品化、販売を、村長 関東豊丘会は、会員650名、会員名簿の提供に承諾して頂いたので米の販促に取り組むを進めたい。

り組んでいただける。産業建設課長 米粉パンは時間の経過で固くなる欠点があるが、研究したい。甘酒は、すでに加工組合の麹を作る機械を使って製造を開始しており、道の駅直売所を利用した取り組みを進めたい。



ふるさと納税返礼品に、認定農業者が企画した米ギフト



水質改善にきしゃくは最善策か

答 ちっ素の値を低く抑えたい

川野 孝子 議員

質問 最新の水質検査で気になる井戸、又は数値はあるか。

環境課長 検査結果については水道法の基準値内の範囲であり安全な水道水が供給されている。基準内であつても伴野第2水源では硝酸性ちっ素の値が高めの時もあり、燃焼残留物の値についても田村第2水源が少し高めである。

質問 今議会の補正予算で600万円で伴野第2水源に対するきしゃくの事業が盛り込まれているがどんな事業か。

環境課長 伴野第2水源のちっ素の値は基準値内であるが好ましい状態ではない。そこで小園水系の水をパイプで伴野第2水源へつなぎ、きしゃくをしたい。

質問 きしゃくには基本的反対である。井戸そのものの改善ではないからである。

環境課長 小園の水源からの水を最大伴野水源のくみ上げる量に対して半々にする予定。それによつてちっ素の値を低くして配水したい。

質問 ポットや水道の蛇口等につく白い物質のせいか器具のいたみも早いと感じる。飲んでも全く健康には影響はないとしても村民の皆さんの不安を打ち消すことは出来ないと思うが。

村長 豊丘村の飲料水については毎月の検査をしており安全性は科学的に証明されている。質問 おいしい水の調査は当初予算にも計上されているがどこまで進んでいるのか。

環境課長 村内6ヶ所で採水して検査している。高森町、喬木村、松川町には協力をいただいた。おいしい水の要件の中はば豊丘村の水は入っている。

産業建設課長 重要な事だと認識している今後考えていく必要あり。

質問 村の農業振興、後継者対策の現状と課題は、産業建設課長 課題は山積するが、農業の持つ多面的機能を村が存続する為の公共性、公益性と捉え、さまざまな施策を実施している。地道に施策を続けていく事が肝要と考えている。

産業建設課長 重要な事だと認識している今後考えていく必要あり。

質問 村の農業振興、後継者対策の現状と課題は、産業建設課長 課題は山積するが、農業の持つ多面的機能を村が存続する為の公共性、公益性と捉え、さまざまな施策を実施している。地道に施策を続けていく事が肝要と考えている。

産業建設課長 重要な事だと認識している今後考えていく必要あり。

質問 村の農業振興、後継者対策の現状と課題は、産業建設課長 課題は山積するが、農業の持つ多面的機能を村が存続する為の公共性、公益性と捉え、さまざまな施策を実施している。地道に施策を続けていく事が肝要と考えている。

産業建設課長 重要な事だと認識している今後考えていく必要あり。

質問 村の農業振興、後継者対策の現状と課題は、産業建設課長 課題は山積するが、農業の持つ多面的機能を村が存続する為の公共性、公益性と捉え、さまざまな施策を実施している。地道に施策を続けていく事が肝要と考えている。



きしゃくでちっ素の値を低く抑える 伴野第2水源



消防団の団員不足への改善策は

答 今年度末までに方向付けを図りたい

井原 康明 議員

質問 近年少子化の影響を受け、消防団への加入者がなくなり地域消防の活動に支障を生じる自治体も多くなっている。当村に於いても同様であり、早急に住民理解や各区の協力を願いながら改善策について検討する時期である。

質問 団員数は条例の180人に対し、現状144人だが活動に問題は無いのか。

村長 活動の一部で支障が出ている事は承知しているが、各地区の協力を得る中で何とかやっている。

質問 昨年末に各分団長から意見書が出ている件で、加入率のUPや、住民理解のための改善策は。

村長 広報など通じて団の紹介や勧誘を継続して実施し、区の方にも更に協力をお願いして行く。

質問 現在の消防団員の年報酬は安いいため、優遇措置が必要ではないか。



9/3 さあこれから水防訓練だ

質問 高齡化や役員のなり手不足から年々団員が減少している。村として奉仕団に求める活動は。

村長 有事の際の炊き出し活動がメインと思うが、支援物資の管理などはその時の状況による。

質問 団員確保や負担軽減への対策は。

村長 住民理解はもとより各区にも協力をお願いしていく一方、奉仕団の事業内容にも目を向け、出来るだけ負担を減らすことが出来るように検討する。

質問 奉仕活動の一部



炊出し訓練に真剣なまなざし（5月）

村長 奨学金助成事業を活用するなかで、助成金の割り増しも制度化するなど含め加入促進を図りながら、団の編成を含み運営の在り方についても検討していきたい。

質問 ロシア視察ツアーとは何か、また当村での展開は可能か

村長 週末のライフスタイルで田舎で農業を行い、家族で過ごす。豊丘に於いて展開は充分可能で、交流人口も増える。

赤十字奉仕団の団員不足への改善策は

答 本部役員や事務局を含め検討を行う

答 ダーチャとは週末のライフスタイル



本山残土置き場の撤回を

答 地権者の同意は不要で、撤回しない

唐澤 健 議員

質問 村のリニア対策委員会における本山残土置き場の村の見解について。平成25年の4月3日に本山生産森林組合から組織決定として要望書が出され、村は長野県に候補地として適当であると報告した。土地の使用同意の撤回は、本山生産森林組合に理事がいない異常事態が判明し、組織決定ができなかったため。平成25年の組織決定も無効であり、組合長も組合員でも地権者でもなかった。誰の土地でも勝手に使ってくれと要望することができることになり、村の見解は正当と到底容認できない。

村長 源道地自治会から谷を埋めてという申し出で、村は県の方に候補地として提出した。地権者の同意は必要ない。

質問 源道地の場合、地権者もいて、そ

の上での話だ。本山は地権者だということを出してきた。それは問題をすり替えている。村長 旧来の慣行、持ち主については、法的には間違っていたけれども、その持ち主として歴史の中で肅々とその役目をしてきた。法的効力がなくても全く

質問 文科省のみらい塾の考え方について。

教育長 文科省は、経済的、家庭の事情で学習が困難、学習習慣が身につけていない児童生徒に対して教員OB、地域の人材、ICT機器、こういったものを活用して、原則無料で学習支援を行う。

質問 豊丘みらい塾は、中学3年生の何%が受講しているのか。

豊丘みらい塾の教材費の無料化を

答 受益者負担で

無意味ではなく、これまで多くの地域の皆様の一定の意思表示があったものと認識して、これを候補地のひとつとして挙げた。意見 登記できないのに登記されてきた。そういう問題であり、村長は考え直すべきだ。

教育長 教材費は受益者である中学生、その家族にお願いをしている。

質問 松川町では、文科省のみらい塾補助金で講師の謝礼も賄っている。

質問 橋木村では、来年度村職員としてICT選任支援員を採用する予定と聞いた。豊丘村独自で橋木村のように確保するべきだ。



豊丘みらい塾の様子

ICT(情報通信技術)専用支援員の採用を

答 将来必要と思う

教育長 ICT選任指導員がこの村でも独自に採用する、育成する、ある種一番先にそういう政策かなと思う。

教育長 今年度の実績を見る中で来年度以降の補助事業の導入については検討する。



結婚希望者の願いが叶う支援を

答 個別の出会いの場も提供していく

平澤 恒雄 議員

質問 育児の事は親に聞くのが良い対応

答 育児の事は親に聞くのが良い対応

祖父祖母手帳で孫育てのサポートを

質問 祖父母手帳で孫育てのサポートを

質問 祖父母手帳で孫育てのサポートを

健康寿命を延ばす活動に特典を

答 インセンティブを検討し実施する

質問 健康寿命を延ばす活動に特典を



日頃のチェックで健康寿命を延ばしたい

質問 健康寿命を延ばす活動に特典を



中学校も指定避難所のひとつ

質問 中学校も指定避難所のひとつ

学校避難所にマンホールトイレを

答 現段階では設備対応を考えていない

質問 学校避難所にマンホールトイレを



村の観光産業の展望は

答 南信州全体の重要課題である

酒井 浩文 議員

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は

質問 村の観光産業の展望は



「観光情報発信の一元化が急務です」現在の案内板

ゲストハウス・お試し住宅の事業コンセプトは

答 田舎暮らしが体験できる地域交流の場所

質問 田舎暮らしが体験できる地域交流の場所

質問 田舎暮らしが体験できる地域交流の場所

北部ブロック議会の活動

当地域の住民福祉の向上など 県へ要望活動行なう

副議長 川野 孝子

平成29年8月2日
北部ブロック町村議会
の総会が当番村の大鹿
村に於いて開かれた。
この総会は年一回、各
町村が抱える諸問題、
諸課題を持ちより県へ
要望するものである。
主なものを幾つか紹
介する。①「リニア中
央新幹線事業における
環境保全について。大
鹿村」②「保育園設置
市町村の負担軽減につ
いて。松川町」③「仮
称新万年橋の早期完成
について。豊丘村」④
「子どもと障がい者の
医療費助成と充実に
ついて。喬木村」等全
て16議題を持つて9月
21日、五ヶ町村の正副
議長等で県へ要望活動
を行った。

この日は県会の9月
議会の開会に当り一行
は先づ県議会を傍聴し
た。知事のあいさつの
中には今長野県が抱え
る諸問題について取り
組みが述べられ、どれ

もみな私たちの身近な問題と認識した。

要望活動は副知事、教育委員会、建設部等各部署をまわりお願いをした。どの部署に於いても熱心に私たちの意見を聞いていただき前向きな回答が多かったという印象であった。

新万年橋目

(県)河川

豊丘村の新万年橋の早期完成についてもしっかりとお願いをしてきた。県としても現在では備設計に着手しており河川占用許可取得に向け努力していると回答してくれた。要望活動に感じたことは、16議題のすべてが私たちの住民生活にとって重要な課題ばかりであり、すぐ取り組んでもらえるものばかりでは

新万年橋早期完成を
（県）河川占用許可に
向けて努力

「保育園設置市町村の負担軽減については、保育士をめぐしては、学生に対して平成28年から返還免除の貸し付け制度を行っている。又、潜在保育士の職場復帰については人材バンクを設立したい等の県の考えが示された。

ないが議会として声を継続してあげ続けることが大事であると改めて痛感した一日であった。

この日はたまたま他の下伊那の重要問題「県議会議員の定数」の要望活動に出席することになった。2019年4月の県議選に向けて県議会の特別委員会での検討が続いているが、下伊那郡区をなんとかし

でも残さなくてはと下伊那町村会の会長泰阜村の松島村長、副の豊丘村の下平議長で県議会の各会派へのお願いに私たちも同行させて

もらった。結論はまだ出ていないが目の離せない問題であるとしの引き締まる思いであつた。



9月21日 北部ブロック正副議長で県へ要望(知事を囲んで)

9月21日 北部ブロック正副議長で県へ要望(知事を囲んで)



就学援助の一層の改善を

答 受給者の気持ちに寄りそえるよう検討していく

唐澤 啓六 議員

質問 教育は無償とするという憲法の理念を具現化する就学援助の改善は、緊急の課題である。新入学準備金が、中学生のみであるが、入学前の2月に支給となったことは保護者からも喜ばれているが、尚改善をすべき事項が多いと考える。

①支給項目と支給金額について国基準と比較してどうか。②制度の案内文書及び申請書の配布は。③昨年度の支給時期は。

教育委員会事務局長

①PTA会費、生徒会費等を除いて、ほぼ国



蜂蜜の出来映えを心配する

基準項目を支給している。支給金額は給食費を除いた国基準。②案内文は入学式当日全員に配布し、申請書は必要な人が学校からもらう。③昨年の支給は6月3日、10月7日、2月17日の3回。

質問 今後の主な改正点については①PTA会費生徒会費も支給すること。給食費は実費全額を支給すること。支給回数数は年6回程度に増やすこと。②申請書も案内文章と共に全員に配布を。③認定基準項目に前年の収入で判定する項を追加すること。

教育長 直ぐに全てと
いうわけにはいかない
が、近隣町村の状況を
みながら受給者の気持
ちに寄り添えるように

養蜂農家への支援を
農薬の安全使用を

答 養蜂農家、育成事業に取り組んだ経過がある

質問 近年、村内養蜂農家と飼育箱数が共に減少し続けている。この要因の一つに農薬（ネ

オニニコス1ト系の影響が指摘されている。①村内養蜂農家数と飼育箱数の推移は、②村内におけるネオニコ系農薬の使用状況は、産業建設課長 ①平成22年の26ト、164群が最高で以後減少しており、昨年は12群、46群であった。②JAの販売実績では年間およそ700kgである。要望 ネオニコ系農薬の特徴は、植物体内に

総合的に検討していきたい。新入学準備金の小学1年生への入学前支給も実現できるように検討したい。

防災対策の見直しを

答 新しい防災マップを発行していく

質問 国の中央防災会議はこの程「大地震の直前予知による防災は困難」という報告をした。

防災は地域や住民が
主役となって対策（訓
練等）をすることが重
要である。これまでの
国によるトップダウン
方式ではなく、村が主
導的な役割を果たし各

た。養蜂農家への支援や蜂による受粉を要する果樹農家への対策と共に、食の安全の見地からもネオニコチノイド系農薬の使用について、環境閣・ＪＡと連携して農薬使用基準の見直しをできる具体策としては、直ちには、

以前２年間実施した養蜂農家への蜜蜂導入補助を復活することが必要である。

見直しを マップを発行していく

法人設立に当り出資金3回に分け実施 モニュメント設置の検討も

村の駅とよおか(仮称)特別委員会報告 委員長 片桐 忠彦

株式会社豊かな丘の法人立ち上げに当たり、資本金計画の説明を受けた。現最終目標は2000万円で村が51%の1050万円、一般分49%950万円としている。なおこれを3回に分け、今年10月の設立段階では、資本金総額300万円とし、村250万円、一般分50万円(発起人10人でこれを対応)で法人を立ち上げる。その後、

第一期決算段階の30年5月には、資本金総額900万円とし村500万円、一般分400万円とする。この時の一般公算は350万円となる。さらに第二期当初の30年6月には最終目標の総額2000万円とし、前記の内訳となる。なぜこのように3回に分け行うのかについて村からは、まず一般出資者が「小さな拠点税制」の適用を受

法人設立の出資計画について

村では今年7月、国に対し道の駅登録申請を行った。申請書は豊丘村における「道の駅」の必要性について記載され、高速交通網時代への対応、伊那谷にお

道の駅登録について

8月28日に村の駅特別委員会を開催し、道の駅登録申請について、道の駅運営法人「豊かな丘」設立資本金計画について、さらにモニメント設置計画についての説明を受け、議論を交わした。なお、村の出資金については、今議会に補正予算が上程された。

けられるように、一般出資者の募集を募る前に適用条件を踏まえ立ち上げる。

第2回目は、出資者の一般公募を募る中、法人の税制上の対応から、第一期決算期には、1000万円以下の内容とする。そして設立2年目の3回目に満額

とすることとした。

以下主な質疑

問 資本金額について、積み上げた内容は?

答 当初は、発起人出資額を50万円とし、それに対し、小さな拠点税制の条件に合うよう村が6倍以内となる250万円とした。

問 設立時の定款には、何株何円と書くのか。

答 決まりがあり、資本金予定額の4倍まで出来る。(資本金予定額は当初の300万円) 問 発起設立はどのような事をするのか、登記までするのか。取締役は発起人に限るのか。

答 定款に代表取締役役、役員の名を記し登記までの。取締役は発起人に限らない。

問 発起設立は、出資者を募集するのではなく、会社設立の発起人がすべての株を持つ方法。発起人10人と村とで300万持ち設立する。

モニメントの設置について

建設が進む村の駅



当初建物正面の緑地に樹木を植栽する計画であったが、落ち葉等心配との声や、準備委員会からこの施設に時計がない等の意見があり、そこに時計台(モニメント)を設置した。

村「本山発生土置場候補地は有効」 村の見解に対し協議

リニア特別委員会委員長 酒井 浩文

7月20日に開催された第9回村リニア対策委員会の冒頭、村長が本山発生土置場に対する村の見解を述べた。内容は、「本山生産森林組合が組織手続上の問題により、本山発生土置場候補地の取り下げを行った。使用同意撤回と処分候補地要望書の取り下げとは別ものである」と考えている。引き続き本山発生土置場候補地の要望は有効と判断している。これに対し、8月28日の委員会は、議員のみの懇談会として協議した。法的に無効な組織の要望は無効では



改修中の大島蛇川線を視察

ないか、この要望を調査なく認めた行政行為には瑕疵があるのでは、等の意見が出された。委員会は、一組織の問題であり今後の手続きの進捗を見守り、正常な組織として出された要望に対し判断する、という結論に至る。踏み込んだ質疑は個別に一般質問で村の見解を問うこととした。

平成29年度上半期委員会内容

年月日	協議事項
①4.26	・リニア中央新幹線事業説明会等の実施状況と今後の予定について ・「豊丘村内発生土置き場(本山)における環境の調査及び影響検討の結果について」に対する知事の助言について ・本山発生土置場予定地関連
②5.19	・中央新幹線建設に伴う豊丘村内における道路改良工事及び工事用車両通行等に関する確認書について ・中部電力送電線鉄塔地質調査にかかるヘリコプター運行等について
③5.30	・「中央新幹線建設に伴う豊丘村内における道路改良工事及び工事用車両通行等に関する確認書」の締結について
④6.9	・伊那山地トンネル新設(坂島工区)工事に伴う豊丘村内道路改良工事について・中部電力変電所工事に関する説明会
⑤7.11	・中部電力榑より(仮称)下伊那変電所建設工事について説明
⑥8.28	・議員懇談会(本山発生土置き場について)
⑦9.26	・大島蛇川線工事状況視察

「現在の進捗」

◆JR関係 坂島工区 非常口工事に向けた、林道大島蛇川線の改修工事および、う回路となる村道小枝線の舗装工事を実施。9月1日～11月10日は茸山入山規制の為

休工。その間、村道長沢線・中央横断線の改修工事を実施。柏原変電所の地質調査を行なう。

◆中電関係 変電所・送電線工事に向けた周辺河川の調査を実施中。H30年秋～変電所工事着手予定・

◆県関係 坂島・戸中地区の用地取得・交渉中。

◆その他 本山生産森林組合は、県の指導により組織再構築中。

平成30年8月から300円のみ 18歳までの医療費窓口負担

社会文教委員会報告

副委員長 竹村 直子

○条例の内容
中学3年生までの子どもの福祉医療費の現物給付（窓口無料化）が長野県下統一で導入されることに伴う改正。平成30年8月1日から適用。



産廃処分場建設が持ち上がっている宮田村の現地

豊丘村福祉医療費給付金 条例の一部改正

療機関へとすること、

300円で一つの医療機関の医療が受けられる。なお、国から課せられるペナルティは、年

9月1日の本会議で社会文教委員会に付託された条例改正と請願について、9月5日委員会を開き松下委員長を除く委員6名で審査を行った。

宮田村産廃計画に伴う 意見書提出の請願

○請願の主旨及び内容
平成27年に宮田村の太田切川と天竜川の合流地点へ、民間事業者による放射性物質を含む廃棄物の最終処分場計画が持ち上がった。「宮田の環境を守る会」は、10万人を超える署名を集め、県へ意見書を提出したが、業者から建設申請が上げられれば県は通してしまいかねない。

信州は、豊かで優れた自然環境や農環境、

○審査結果

出席委員全員一致で採択と決し、意見書を県知事へ提出することとする。

間約10万円となる。

○審査中の質疑

質問 受益者負担金廃止の考えは。

答 近隣の町村と足並揃えて。国のペナルティ

○審査結果

出席委員全員一致で可決する。

水資源に恵まれた地域である。この環境や観光を支える良いイメージを後世へ残し、河川の上流部に位置する地方自治体として、環境保全、水質保全の責務を全うするため、意見書を県知事へ提出するよう求めるもの。

道路工事の補助率嵩上げの継続を 2件の陳情を採択

総務産建委員会報告

委員長 平澤 恒雄



補助率嵩上げで佐原線整備が進められた

陳情第3号道路財特法に係る補助率等の嵩上げ措置継続の取り組みについて

提出者 長野県道路整備期成同盟会
概要 道路整備事業に

9月定例会で付託された2件の陳情について9月5日、7人の全委員で審査した。

質疑

現行の補助率嵩上げを問う質問があった。村から、道路財特法の適用が無ければ50%補助

陳情第4号「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

提出者 全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣一徳氏
概要 山村地域の市町村による森林呼吸源対策（森林による温室効果

質疑

CO2（二酸化炭素）と温暖化は関係ないと

係わる国の財政上の特別措置に関する法律（道路財特法）という）によつて、平成29年度末まで道路整備事業の補助率等が嵩上げされ

ている。次年度以降も継続するよう国に求めるもの。

村から、森林の働きとして地球温暖化防止の他にも、土砂災害防止や土壌保全、水源涵養など公益機能も含まれる。税の目的は分かつてももらえるとの回答があった。

助のところで、61%65%の補助率に嵩上げされているとの回答があった。

討論は無く、理解出来るとして採択した。

討論

一般財源化の懸念を指摘し、態度の保留の表明があった。国民全体で環境を守るとの趣旨が大切として、賛成多数で採択した。



みんなのページ

シリーズ

私がんばっています



河合祥吾さん
(26歳)
(中芝)

とよリンクで 繋がる若者の輪

2016年5月発足の
とよおか若者ネットワー
ク(通称…とよリンク)代
表を務める河合さんは会
社員26歳。

とよリンクとは、若者同
士が繋がれるようにとつ
けたそつで、とよリンク(と
よおかロックフェスティ
バル)やてっぺん公園灯籠
祭りなどの企画運営をし
ており、とよまつ(とよお
かまつり)に向けて実行委
員会に加わり準備をして
いるところでもある。独自
の活動としては、消防団婚
活パーティー、スノーボー
ド・スキーツアーを開催し
て、村内就業者や村内在
住の若者の交流を推進し
ている。婚活パーティーで
は何組かのカップルが誕
生し成果を上げている。
河合さんは、少年野球ク

ラブから高校野球を経て、
現在は軟式野球豊丘クラ
ブのキャプテンと少年野
球の指導員もしている、明
朗快活な好青年。また、河
野地区の多くの若者と同
様、消防団員と分館役員を
している。今年度から弟の
裕斗さんも消防団に入っ
た。「操法大会で賞を兄弟
揃って取れるくらい頑張
りたい。」「とよリンクに関
わって、多くの人が村のた
めに動いていると知った。
また、色々な人と知り合え
て良かった。次の若い人達
に活動を繋げたい。」と語っ
た。

先輩と同級生の縁を結ん
で結婚式に招かれたり、自
身も新婚で10月には父親
になる予定があり、充実し
た生活ぶり。今後の活動躍
も期待したい。

編集後記

▼収穫の秋。大型コンバイ
ンが、あつという間に、刈
り取り・脱穀の作業をこな
していく。昔ながらの稲は
ぎ風景は年々少なくなっ
ている。▼スポーツの秋。保
育園や小学校の運動会に招
待いただき、思わず声援に
力が入った。転んでも、歯
をくいしばってゴールした
園児を、抱きしめる先生方。
一輪車競技を見事に決めた
子供達を、ハイタッチで出
迎える先生方。心通う場面
を見せて頂いた。▼時代の
大きな流れの中で、便利で
効率的なものを求める世の
中。豊かさの中で失ってゆ
く大切な部分を見逃しては
ならない。(滝川利秋)

発行責任者

議長 長 下平 豊久

広報部会

部会長	片桐 忠彦
副部長	滝川 利秋
部員	竹村 直子
部員	唐澤 健
部員	井原 康明
部員	川野 孝子